

「細胞検査士の教育・養成過程に対する意識調査」 ご協力をお願い

畿央大学 健康科学部健康栄養学科
畿央大学大学院 健康科学研究科
森 康浩

この文書では、あなたにこの研究へのご協力をお願いしたく、研究内容についての説明をします。この文書をよく理解したうえで、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。また、ご協力いただけない場合でも、それを理由にあなたに不利益が生じることは一切ありません。

1. 研究名：「細胞検査士の教育・養成過程に対する意識調査」

2. 研究責任者氏名および役割

研究責任者（所属・職）：森康浩（畿央大学健康科学部健康栄養学科・准教授）

研究分担者（所属・職）：田中慎一（川崎医療福祉大学医療技術学部臨床検査学科・講師）

大西崇文（京都橘大学健康科学部臨床検査学科・講師）

高木翔士（倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科・講師）

芝原一樹（九州医療科学大学生命医科学部生命医科学科・講師）

高島剛志（大阪大学大学院医学系研究科病態病理学講座・大学院生）

3. 調査目的

日本では細胞検査士の資格取得のためには臨床検査技師の国家資格を取得後に、日本臨床細胞学会が主催する細胞検査士資格認定試験（以下、認定試験）に合格する必要がある。認定試験の受験資格は多様化しており、臨床検査技師として臨床で細胞診業務に従事しながら資格取得を目指すケース（以下、臨床過程）¹⁾、臨床検査技師を取得後に細胞検査士養成機関にて資格取得を目指すケース（以下、養成機関過程）²⁾、細胞検査士養成コースのある大学で臨床検査技師と同時に資格取得を目指すケース（以下、大学過程）³⁾の主に3つの過程が存在する。これらの過程において資格取得に向けたカリキュラムのような教育内容についての規定はなく、知識や技術の習得・習熟に差があり、事実として認定試験の合格率にも過程により異なる。

本研究では、日本の細胞検査士を対象にアンケート調査を行い、多様化する日本の細胞検査士教育過程における実態と課題を把握・抽出し、より充実した細胞検査士教育水準の均てん化を推進するための将来的な改善策を検討する。具体的には、臨床過程、養成機関過程、大学過程における各々の特性を把握し、比較検討することでこれを達成する。

1) 臨床過程とは、日本臨床細胞学会が定める細胞検査士資格認定試験の受験資格の「臨床検査技師または衛生検査技師の資格取得後、主として細胞診検査実務に1年以上従事したもの」を指す。

2) 養成機関過程とは、日本臨床細胞学会が定める細胞検査士資格認定試験の受験資格の「臨床検査技師または衛生検査技師の資格を有し、日本臨床細胞学会認定の細胞診技術者養成機関卒業見込み者又は卒業生」を指す。

細胞診技術者養成機関は、財団法人癌研究会有明病院付設細胞検査士養成所、大阪府立成人病センター内細胞検査士養成講習、東京都がん検診センター細胞検査士養成所、杏林大学保健学部細胞検査士養成課程、藤田学園衛生技術短期大学細胞診スクリーナー養成所、北里大学医療衛生学部細胞検査士コース、山口大学医

学部保健学科細胞検査士養成課程、群馬大学医学部保健学科細胞検査士養成コース、玉田学園神戸常盤大学保健科学部医療検査学科細胞検査士養成課程、加計学園細胞病理学研究所（倉敷芸術科学大学内）、学校法人冬木学園畿央大学細胞検査士養成課程、九州保健福祉大学がん細胞研究所を指す。

- 3) 大学過程とは、日本臨床細胞学会が定める細胞検査士資格認定試験の受験資格の「4年制大学で、日本臨床細胞学会認定の細胞検査士養成課程修了者で大学卒業見込み者又は卒業者、及び該当課程修了者で臨床検査技師又は衛生検査技師の資格を取得した者」を指す。

細胞検査士養成課程は、杏林大学保健学部細胞検査士養成課程、北里大学医療衛生学部細胞検査士コース、山口大学医学部保健学科細胞検査士養成課程、群馬大学医学部保健学科細胞検査士養成コース、倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科、玉田学園神戸常盤大学保健科学部医療検査学科細胞検査士養成課程、弘前大学医学部保健学科細胞検査士養成課程、九州保健福祉大学がん細胞研究所、関西医療学園関西医療大学保健医療学部臨床検査学科細胞検査士養成課程、学校法人加計学園千葉科学大学危機管理学部保健医療学科、学校法人森ノ宮医療学園森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科、京都橘大学健康科学部臨床検査学科細胞検査士養成課程、四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科細胞検査士コース、福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科細胞検査士養成コースを指す。

4. 調査方法

対象：全国の細胞検査士会に所属する約6000名の細胞検査士

所要時間：10分程度

依頼内容：2024年9月30日までに、下記のQRコードまたはURLより、すべてWeb上でご回答ください。回答中でのWebでの一時保存およびアンケート回答後の再回答はできませんのでご注意ください。回答に修正がある場合は本文末尾記載の研究代表者までご連絡お願いいたします。

QRコード：



URL：https://docs.google.com/forms/d/1k2taby4zYwzH6v-9lryuJDHe_Ha9Pu3bHGjzIGqpxmo/edit?ts=66bd4203

アンケート内容：

- ① 回答者の年齢
- ② 細胞検査士の資格取得からの経験年数
- ③ 細胞検査士の資格取得までに要した年数
- ④ 細胞検査士の資格取得契機
- ⑤ 細胞検査士の資格取得の最大の契機
- ⑥ 現在の配属先
- ⑦ 細胞検査士資格取得過程
- ⑧ 認定試験受験（筆記試験）で苦勞した事項
- ⑨ 認定試験受験（筆記試験）で最も苦勞した事項
- ⑩ 認定試験受験（実技試験）で苦勞した事項
- ⑪ 認定試験受験（実技試験）で最も苦勞した事項
- ⑫ 認定試験受験における対象者が経験した過程における長所
- ⑬ 認定試験受験における対象者が経験した過程における最大の長所
- ⑭ 細胞検査士資格取得後に苦勞した事項
- ⑮ 細胞検査士資格取得後に最も苦勞した事項
- ⑯ 臨床過程で資格取得した細胞検査士の印象
- ⑰ 養成機関過程で資格取得した細胞検査士の印象
- ⑱ 大学過程で資格取得した細胞検査士の印象
- ⑲ 自分とは異なる過程で資格取得した細胞検査士の羨ましい点
- ⑳ 他の過程に対して自分の過程の強み
- ㉑ 認定試験受験の際に希望する環境
- ㉒ 資格取得後に希望する環境
- ㉓ 学術研究への取り組み状況
- ㉔ 取り組んでいる学術研究の概要

5. 倫理的配慮

本研究を実施するにあたって、以下の倫理的配慮を行います。

①調査協力者への依頼時の配慮について

研究協力は本人の自由意志であり、協力を断っても不利益を被ることはありません。

②調査協力の同意、撤回について

無記名の自記式 Web アンケートであり、所属機関名および個人が特定されることはありません。回答途中での回答の拒否や撤回を行うことはできますが、本人確認が困難であるためアンケート回答送信後の撤回はできませんのでご了承ください。また、アンケート調査への回答を持って研究協力への同意・承諾が得られたものと判断します。

③使用用途

回答は本調査の目的のみに使用し、目的以外には使用しません。

④個人情報の保護、プライバシーの保護について

回答は無記名の自記式 Web アンケートであり、分析は適切な統計学的処理により行います。研究結果を学術雑誌及びデータベース上、学会等で公表する際に、所属機関名および個人が特定されることはありません。

⑤回答データの扱い

Web アンケート調査で収集されたデータは、研究者がサーバー上から取得後に削除いたします。データはパソコン本体でデータ管理を行わず、パスワード設定した USB メモリに保存します。印刷したデータおよびバック

アップ用の記憶媒体は、鍵付きの保管場所に保管し、研究終了後5年間は保存し、その後は継続的な研究の参考資料とする以外、すべてのデータを破棄します。

- ⑥本研究は、畿央大学倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
(承認番号：R6-08)

6. その他

何か不明な点がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

本調査に関するお問い合わせ先

調査責任者：森 康浩

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

畿央大学健康科学部健康栄養学科

畿央大学大学院健康科学研究科

電話：090-2325-0611

Eメール：m.mori@kio.ac.jp